

11

### 小口径ジャイロコンパス

住友精密工業は、資源掘削向け小口径ジャイロコンパスを開発。高精度の方位計画を実現。

29

### 貫通電極一非破壊で検査

大阪大学などは、3次元集積回路の貫通電極を非破壊・非接触で検査できる技術を開発。

## 浸水被害を防ぐ!

BX 文化シャッター



# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

3月26日 金曜日

2021年(令和3年)

2021年(令和3年) 3月26日・金曜日

04

WORLD BUSINESS

国際・商社

# 「チャイナ・プラスワン」で注目

独立後50周年を迎えたバングラデシュは、国連開発委員会から「後発開発途上国(LDC)卒業」を推薦されるほど発展を遂げつつある。それに伴い、日本企業間で「チャイナ・プラスワンの適地」との見方も広がっている。シャハブッディン・アーメド駐日バングラデシュ大使に対日期待を聞いた。(特別編集委員・中村悦)

バングラデシュの16月は8・15%。農業が3・4%成長状況は。その主因は旺盛な民間。長だった。政府の今年「新型コロナウイルス消費、投資、アパレル」度目標は8・2%だ。初旬段階での累積感染では製造業が11・2 MFは4・4%成長者数が人口の0・33%、サービスが6・4と見ている。輸出入は8462人。ワクチン接種も医療従事者、高齢者の400万人以上が受けている。

「過去5年間の平均国内総生産(GDP)成長率は7・4%で、2019-20年度7



駐日バングラデシュ大使 シャハブッディン・アーメド氏

若干減少しそうだが、海外出稼ぎ労働者の送金は20年7月-21年1月で35%近く伸長。2月末の外貨準備高は過去最高の440・3億ドルにのぼる。ハシナ首相は、119億ドルのコロナ下の景気刺激策を公表している。

## 車産業界育成策 近く発表

スケア、教育、農業などを見させている。国民はどの分野で継続的な支援を頂いている。独立品・日本の経営システムに特別な信頼を寄せ47・2億ドルにのぼり、現在、日本の支援下、22年は両国の国交樹立50周年です。都市高速鉄道(MRT)建設を77開発プロジェクトが進行中だ。この10年間で、我が国への日本の投資は3倍以上となり、現在が国への日本の投資は「BIG-B」構想が15社。タッカ近郊で資源が豊富であるとは日本企業向け専用の同時に、運輸の要衝。経済特区開発も進んで「旧チッタゴン」近郊のママバは人口約1億7000万人で、労働人口の平均年齢は若く、ピラミッド型。「人口ボーナス」が期待できる。政パールと東南アジア諸国連合(ASEAN)は近く、自動車産業育成策を発表する。労働コストが低いだけでなく、消費は高い伸び一層の協力を望む。